



株主のみなさまへ

第99期中間期 株主通信

2024年4月1日～2024年9月30日

Contents	中期経営計画	1	トピックス	7
	トップメッセージ	2	会社情報	9
	連結決算ハイライト	3	株式情報・CSR	10
	連結財務データ	4	グローバルネットワーク	裏表紙
	事業概況	5		

高砂香料工業株式会社 証券コード：4914

 TAKASAGO

New Global Plan-2 【NGP-2】

Vision 2040

人にやさしく、環境にやさしく

1. 多様な価値観を尊重する
2. 自然と共生し、人々の生活に彩りを与える
3. 夢と誇りを持って未知の世界へ挑戦する
4. 常に高い技術を追求する、かけがえのない会社

NGP-2 中期経営計画 New Global Plan-2

基本方針



【NGP-2】では、各基本方針における重要成功要因、キーサクセスファクターを設定しています。当社が基本方針のもとで何に注力しようとしているのか、方向性をステークホルダーに示してまいります。

Key Success Factors

- 事業軸の成長戦略
- 新規顧客の開拓
- 売上総利益の拡大
- 海外サプライチェーンの最適化
- 先端科学による競争力のある技術の創成
- 売上総利益の最適化
- 費用の構造改革
- 新領域の開拓
- フレーバー・フレグランス製品生産効率性の追求
- 合成事業生産体制の再構築
- 国内サプライチェーンの最適化
- 先端科学による競争力のある技術の創成
- Sustainability2030の実行
- コーポレート基盤の強化
- 人的資本の価値最大化
- 業務遂行力の向上
- SDGsへの貢献を意識した製品の開発



代表取締役社長

榑村 聡

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2025年3月期中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日まで)の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、一部に弱めの動きもみられるものの、緩やかに回復しました。海外経済につきましては、米州、欧州は底堅く推移したものの中国の景気低迷が継続するなど、総じて緩やかな成長に留まりました。今後のわが国経済の見通しにつきましては、引き続き緩やかな成長が続くとみられますが、長期化するウクライナ侵攻、中東情勢等の地政学リスク、米国大

統領選後の動向等を背景として、海外の経済・物価動向、資源価格の動向など不確実性は引き続き高い状況であり、為替市場の動向や経済への影響についても十分注視する必要があります。

香料業界においても、世界経済の動向に合わせる形で、全体として堅調に推移しました。競合他社との競争環境は厳しい状況が続いておりますが、市場としては、中国や東南アジアでの成長が引き続き期待できる一方、成熟市場である欧米でも底堅い成長が見込まれます。

このような中、当社グループは「人にやさしく、環境にやさしく」をスローガンとする『Vision 2040』のもと、新中期経営計画『New Global Plan-2【NGP-2】』(2024-2026年度)を推進してまいります。

当中間連結会計期間の売上高は、113,585百万円(前中間連結会計期間比15.2%増)となりました。利益面では、営業利益は8,004百万円(前中間連結会計期間比422.3%増)、経常利益は6,895百万円(前中間連結会計期間比107.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は4,898百万円(前中間連結会計期間比129.8%増)となりました。

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向け、資本コストを意識した資本構成及び資金配分の最適化の観点から、必要な資本政策を実施しております。また、2024年度より開始した【NGP-2】では、資本収益性の改善と株主還元の強化に取り組んでおります。

2025年3月期の通期連結業績予想は、当初計画を上回ることを踏まえ、当社の事業計画における必要な資金需要、成長への各種投資、株主還元等のバランスを総合的に勘案した結果、2025年3月期の中間配当及び期末配当予想を増額し、年間160円00銭に修正することといたします。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

売上高

単位：億円

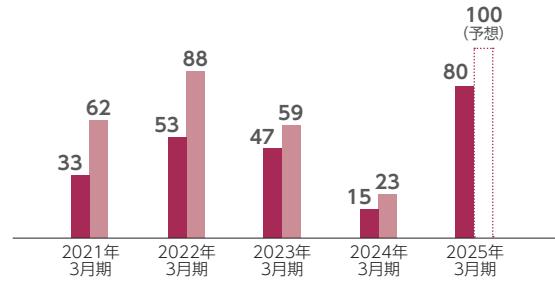
■ 中間期 ■ 通期



営業利益

単位：億円

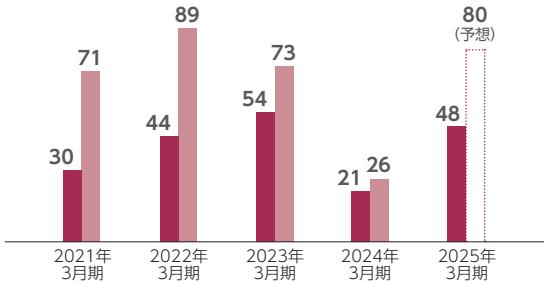
■ 中間期 ■ 通期



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

単位：億円

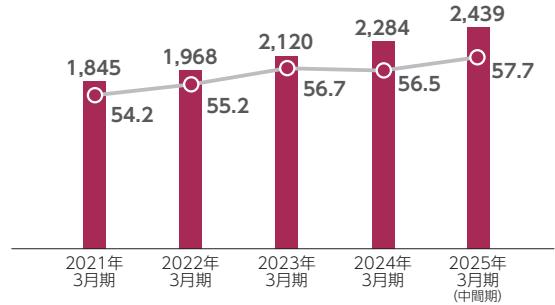
■ 中間期 ■ 通期



総資産／自己資本比率

単位：総資産／億円
自己資本比率／%

■ 総資産 ● 自己資本比率



純資産

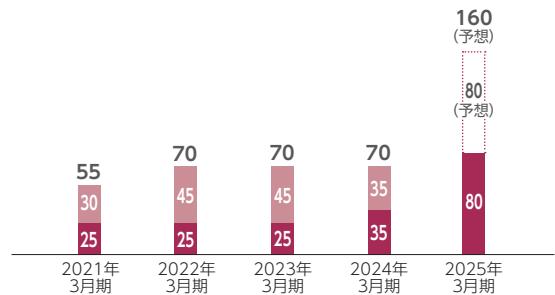
単位：億円



1株当たり配当金

単位：円

■ 中間期 ■ 通期



経営成績

単位：億円

科 目	2021年3月期 (第95期／中間期)	2022年3月期 (第96期／中間期)	2023年3月期 (第97期／中間期)	2024年3月期 (第98期／中間期)	2025年3月期 (第99期／中間期)
売 上 高	771	829	952	985	1,135
売 上 原 価	544	567	667	706	744
売 上 総 利 益	226	261	284	278	391
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	193	208	237	263	311
営 業 利 益	33	53	47	15	80
経 常 利 益	34	56	71	33	68
親会社株主に帰属する中間純利益	30	44	54	21	48

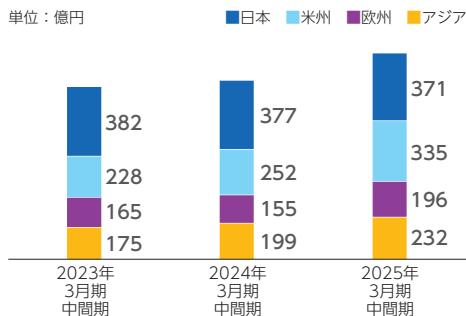
財政状態

単位：億円

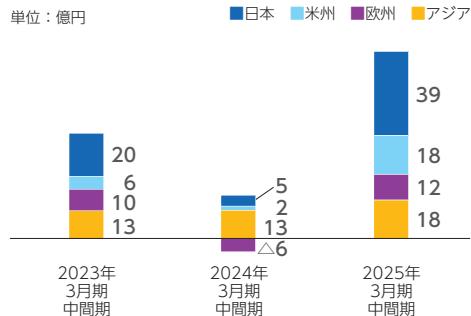
科 目	2021年3月期 (第95期)	2022年3月期 (第96期)	2023年3月期 (第97期)	2024年3月期 (第98期)	2025年3月期 (第99期／中間期)
流 動 資 産	917	1,068	1,171	1,260	1,351
固 定 資 産	927	899	949	1,023	1,088
流 動 負 債	503	571	611	690	704
固 定 負 債	327	294	289	284	306
純 資 産	1,013	1,102	1,219	1,308	1,428
(うち株主資本)	(912)	(991)	(1,047)	(1,059)	(1,101)
総 資 産	1,845	1,968	2,120	2,284	2,439

地域別概況

地域別売上高



地域別営業利益



■ 日本

日本国内の顧客への売上高が低調に推移したものの、アロマイングリディエーツ部門での製品構成の最適化やファインケミカル部門でのセグメント間の内部売上高増加を主因として利益率が改善し、増収増益となりました。

■ 米州

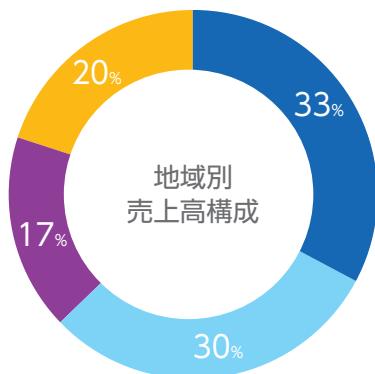
前期末に米国子会社で新基幹システム導入に伴い発生した出荷調整の状況が改善したほか、製品構成・販売価格・原材料購入価格の最適化を通じて売上総利益が改善したことにより、増収増益となりました。

■ 欧州

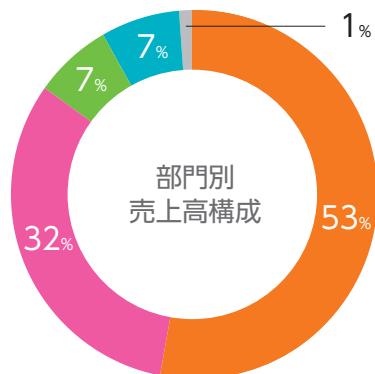
フランス子会社及びドイツ子会社等が好調に推移した他、製品構成・販売価格・原材料購入価格の最適化を通じて売上総利益が改善したことにより、増収増益となりました。

■ アジア

インドネシア子会社及び中国子会社が好調に推移したことにより、増収増益となりました。



■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア



■ フレーバー部門 ■ フレグランス部門 ■ アロマイングリディエーツ部門 ■ ファインケミカル部門 ■ その他不動産部門

部門別概況



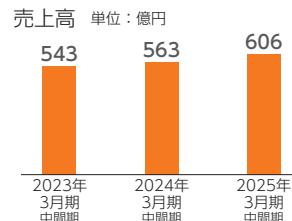
フレーバー部門

売上高 **606**億円 [前年同期比7.6%増 ↑]

事業内容

飲料やデザート、菓子、乳製品、調理食品などに、優れた香りと風味を付与するフレーバーを提供し、さらに果汁やコーヒー、お茶といった食品原料も提供しています。

- 米国子会社において飲料向け等が堅調に推移し、増収となりました。



フレグランス部門

売上高 **364**億円 [前年同期比24.5%増 ↑]

事業内容

香水や化粧品やシャンプー、洗剤、芳香剤、入浴剤といった商品に使用される香りを、残香性や拡散性、安定性にも優れたかたちでクリエーションし、提供しています。

- 米国子会社において出荷調整の状況が改善したことで、増収となりました。



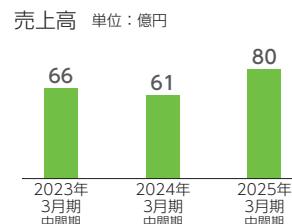
アロマイングリディエント部門

売上高 **80**億円 [前年同期比30.6%増 ↑]

事業内容

光学活性で革新的かつユニークな香りの素材を開発し、高品質のフレーバー、フレグランスのクリエーションに用いています。

- スペシャリティ品、コモディティ品ともに好調に推移し、増収となりました。



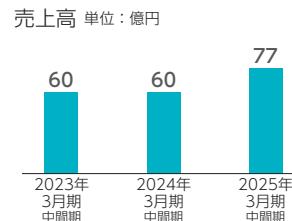
ファインケミカル部門

売上高 **77**億円 [前年同期比28.2%増 ↑]

事業内容

独自の触媒・不斉合成技術を核に、連続フロー技術による医薬品中間体、電子写真感光体などの機能性素材を提供しています。

- 医薬品中間体等が好調に推移し、増収となりました。



※上記の他に、その他不動産部門の売上高7億円がございます。

New Global Plan-2 [NGP-2] 達成に向けて

サプライチェーンマネジメント本部 発足

2024年7月、生産本部とサプライチェーン本部が統合し、さらに調達本部から一部原材料の発注管理や購買管理の機能を移管した、『サプライチェーンマネジメント本部』が始動しました。機構変更の目的や取り組み、その先の目標などをお伝えします。

〈サプライチェーンマネジメント (SCM) 本部とは?〉

NGP-2基本方針に、海外の成長、国内の収益性改善、サステナブルな経営の3つを掲げています。特に、KSF (重要成功要因) の「国内および海外のサプライチェーンの最適化」「人的資本の価値最大化」に対処するために、より一層注力する組織としてサプライチェーンマネジメント本部を立ち上げました。

SCM本部 3つの目的

① サプライチェーンの強化

社内の営業、研究、調達、購買、生産、物流、品質保証や関連部署、さらに取引先 (サプライヤー) までの連携をより一層強化することで、顧客満足度の向上に努めます。

② GSAP (グローバル基幹システム) 導入の準備

グローバルの主要拠点へのGSAP導入に向けた準備として、組織的にも整理統合された体制にします。

③ カイゼン活動の加速

生産本部とサプライチェーン本部を一体化することで、より本社主導で国内工場および海外工場への関わりを強化していき、カイゼンのスピードをあげます。

その先の目標

3つの目的を達成するためのポイントとして、まずは以下2つの手順を進めてまいります。

- エンゲージメント強化を主体とした人材開発
- IE (Industrial Engineering) の考え方や手法を取り入れた改革・改善・文化の形成



最終的に実現する目標

- 高砂グループ全体のサプライチェーンの最適化 (会社を支える基盤の強化)

取締役 常務執行役員 サプライチェーンマネジメント本部長

水野 直樹

グローバル市場に対応する全拠点のサプライチェーンの最適化が私たちの使命です。海外拠点の文化、経験、知見を尊重した上で日本企業のDNAを融合し、当社ならではのバリューチェーンを構築する存在でありたいです。将来に向けて、今まで経験のないことへ新たにチャレンジする機会を増やします。勇気をもって変化を受け入れ、未知なる経験を通じて、全員で成長をしていきたいと思っています。NGP-2達成に向けて、高砂グローバル全体のサプライチェーン関係者が一丸となり、重点課題の解決に取り組んでまいります。



調達本部の取り組み

～た す きTaSuKI～ 天然香料素材の責任ある調達

Takasago global procurement Sustainability Key Initiatives (TaSuKI) の取り組みをはじめ約6年が経過しました。活動の一例をご紹介します。

TaSuKIとは：CSRに関するステークホルダーからの期待に対応しながら、戦略的主要原材料の調達管理を十分な内容へと導くための専門的な当社の取り組みです。当社が必要とする最も戦略的な原材料を確保するために、原産地における持続可能な調達戦略を計画し、実行に移して、さらに発展させていくことに取り組んでいます。



「農家からフレグランス製品へ」～ラバンジングロソオイルに関する先駆的な10年契約～

2023年、当社は、SCA3P^{*1}との長期的な相互コミットメントがすべての期待に応えたことを確認できました。

- 1、 TaSuKIの原則に一貫して従い、SCA3Pとの10年契約を完璧に履行し、“コストプラス”モデルに基づいた条件で、当社が必要としていたラバンジングロソオイル量の大部分を調達しました。
- 2、 世界的な景気減速により需要が減少し、市場価格が2年連続で農家の生産コストを大幅に下回るというマイナス市況にもかかわらず、SCA3Pの206農家と交わした“コストプラス”価格と購買数量の約束を変更することなくすべて守りました。
- 3、 当社は2年連続で、特別に困難な時期に公正な価格でSCA3P農家を支援し、その結果、農家は収益性と事業継続性を維持し、認証などの戦略的取り組みに再投資することができました。たとえば、これによりSCA3PIは当社に供給するすべてのラバンジングロソオイルでUEBT認証^{*2}を取得し、Ecovadis^{*3}のプラチナメダルを獲得することができました。

困難な状況にもかかわらず、2023年は危機の中で当社の責任ある調達モデルをテストする絶好の機会となりました。当社が調達モデルを安定した“コストプラス”モデルへと大胆に転換し、一般的な市場価格変動モデルを打ち破ることが、すべての関係者にとって有益であり、長期的に進むべき道であることが確認されました。



注釈 (用語解説)

※1 SCA3P フランスの農協組織

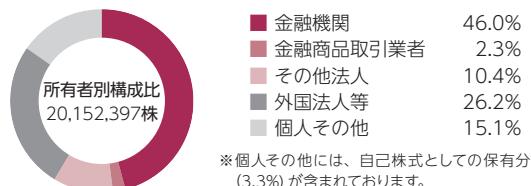
※2 UEBT認証 生物多様性を守りながら、原材料の倫理的な調達に取り組んでいるブランドの証

※3 Ecovadis 世界的に信頼されたサステナビリティ評価機関

株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	20,152,397株
株主数	4,688名

株式の分布状況



大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,026	10.4%
日本生命保険相互会社	1,468	7.5%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,030	5.3%
BNP PARIBAS PARIS/2S/JASDEC FRENCH RESIDENTS	994	5.1%
株式会社三菱UFJ銀行	947	4.9%
共栄火災海上保険株式会社	780	4.0%
中江産業株式会社	720	3.7%
高砂香料従業員持株会	513	2.6%
株式会社紀陽銀行	471	2.4%
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	449	2.3%

(注) 1. 当社は自己株式660,969株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。また、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。

2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)、株式会社日本カストディ銀行(信託口)の持株数には信託業務に係る株式数が含まれております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座口座管理機関 同
 (同連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 電話 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場(化学)
 証券コード 4914

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告により行う

公告掲載URL https://www.takasago.com/ja/ir/e_announce.html

※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関するお手続きについて

● 単元未満株式(100株未満の株式)買取・買増制度について

当社株式の証券市場での取引は100株単位(1単元)となっておりますため、単元未満株式(100株未満)を市場で売買することはできません。このため、当社では「単元未満株式買取・買増制度」をご用意しております。単元未満株式をご所有の株主さまは、ぜひ買取・買増制度のご利用についてご検討くださいますようお願い申し上げます。

買取・買増制度の例(160株ご所有の場合)



サステナビリティ分野の取り組み

当社グループは、持続的な社会の実現に向けて、環境保全をはじめとしたさまざまな課題に対しグローバルに取り組んでいます。詳細については、当社ホームページ「サステナビリティ」をご参照ください。



高砂香料工業株式会社
『サステナビリティ報告書 2024』

URL

<https://www.takasago.com/ja/sustainability/data>



表紙の写真

浜松塩屋時絵十種香箱 間香炉

十種香箱に収められた香道具類の一つ。香席に招かれた客が手にとって香を聞く間香炉である。中の灰に小さな香炭団を埋め、その上に銀葉(薄い雲母の板)をおいて、そこに香木をのせて炊く。江戸時代の十種香で用いられた香炉は、胴に彫らみをもたせた方形のものが多いが、ここではシンプルな円筒形に作られて、近代的な感覚をうかがわせるものとなっている。

撮影：十文字 美信

ヨーロッパ・中東・アフリカ

フランス	Takasago Europe Perfumery Laboratory S.A.R.L.
ドイツ	Takasago Europe G.m.b.H. Takasago International (Deutschland) G.m.b.H.
イタリア	Takasago International (Italia) S.R.L.
スペイン	Takasago International Chemicals (Europe), S.A. Takasago International (España) S.L.U.
イギリス	Takasago (U.K.) Ltd.
トルコ	Takasago International Turkey Esans Ve Aroma San. TIC. A.S.
南アフリカ	Takasago International Corporation South Africa (Pty) Ltd.
マダガスカル	Takasago Madagascar S.A.

アメリカ大陸

アメリカ	Takasago International Corporation (U.S.A.) Centre Ingredient Technology, Inc.
メキシコ	Takasago De Mexico S.A. De C.V.
ブラジル	Takasago Fragrâncias E Aromas Ltda.



アジア・パシフィック

日本	Takasago International Corporation	パキスタン	Takasago International (Pakistan) Pvt. Ltd.
シンガポール	Takasago International (Singapore) Pte. Ltd.	中国	上海高砂香料有限公司 上海高砂・鑑臣香料有限公司 廈門華日食品有限公司 高砂香料(広州)有限公司
フィリピン	Takasago International (Philippines), Inc.	韓国	Takasago International Corporation (Korea)
タイ	Takasago Import and Export (Thailand) Ltd.	マレーシア	Takasago International (Malaysia) Sdn.Bhd.
インドネシア	PT. Takasago International Indonesia PT. Takasago Indonesia		
インド	Takasago International (India) Pvt. Ltd.		